

**本件連絡先**

泉南市教育委員会 教育部生涯学習課

担当：岡崎

TEL:072-483-2582

Mail: syougai@city.sennan.lg.jp

令和2年12月4日

泉南市報道提供資料

報道機関 各位

泉南市秘書広報課長 古木 孝彦

(広報担当：白川)

**日本サッカー協会による「夢の教室」を実施します**

泉南市では、このたび公益財団法人日本サッカー協会への業務委託によりJFA ころのプロジェクト「夢の教室」を全市立中学校の2年生を対象に実施します。

「夢の教室」は、元サッカー日本代表、Jリーグ選手をはじめ様々なアスリート等を特別授業講師「夢先生」として迎え、実体験等に基づく授業を通して、フェアプレー精神や協力すること、夢を持つことの大切さ、失敗を乗り越えて夢や目標に向けて努力しようとする意識や態度を育むことを目的としています。

なお、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、リモートにより講義を実施します。本事業は地方創生推進交付金を活用し、泉南市立の全中学校で実施します。

## 記

## 【日程等】

中学校	月 日	開始時間	終了時間	夢先生
信達 中学校	12月7日 月曜日	10:50	12:00	藤岡 奈穂子 (ボクシング)
		13:30	14:40	
	12月14日 月曜日	10:50	12:00	神村 エリカ (キックボクシング)
		13:30	14:40	
	12月16日 水曜日	10:50	12:00	寺崎 直樹 (キックボクシング)
		13:30	14:40	

【内 容】信達中学校2年生(6クラス 215人)を対象に、日本サッカー協会が推進しているJFAころのプロジェクト「夢の教室」を開催する。

「夢先生」として、12月7日は、女子世界王座3階級制覇の藤岡 奈穂子氏に、14日は、第2代R I S E Q U E E N優勝の神村 エリカ氏に、16日は、第2代K r u s h - 6 5 kg級チャンピオンの寺崎 直樹氏にリモートで講義していただき、「夢」を持つことやそれに向かって努力することの大切さを伝えていただく。

【場 所】泉南市立信達中学校(泉南市信達牧野34-1)

【夢先生】藤岡 奈穂子(ボクシング)※プロフィールは別紙参照

神村 エリカ(キックボクシング)※プロフィールは別紙参照

寺崎 直樹(キックボクシング)※プロフィールは別紙参照

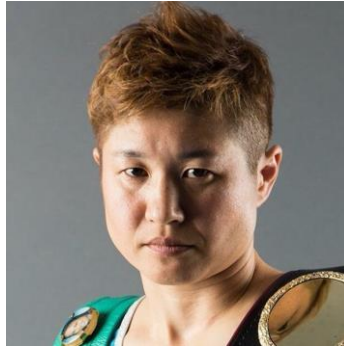
【カリキュラム】 Zoomを使用したリモートでの講義 50分（教室）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当日の取材は御遠慮頂きたく考えますので、資料等が必要な場合はご連絡ください。

また、当日の混乱を避けるため、事前の告知を行わないようお願いします。

信達中学校以外の実施内容については、後日提供を予定しています。

## 夢先生プロフィール



ふじおか なおこ  
藤岡 奈穂子

宮城県出身。高校、社会人を通して5度、ソフトボールで国体に出場。1999年9月、古川リバーサイドジムに入門してボクシングを始めると、翌2000年に全日本アマチュアボクシング選手権大会で新人王を獲得しました。2004年にはアマチュア国際女子トーナメントで銀メダルを獲得。2009年に竹原慎二&畑山隆則のボクサ・フィットネスジムに入門、プロに転向しました。2010年、OPBF東洋太平洋女子ミニフライ級王座を獲得。2011年には、WBC女子世界ストロー級王座に挑み、初の世界タイトルを手に入れました。2度の防衛に成功後、WBCストロー級王座を返上し、スーパーフライ級に転級。2013年にWBA女子世界スーパーフライ級王者に輝きました。2015年にはWBO女子世界バンタム級王座を獲得。日本ボクシングコミッション公認後初の女子世界王座3階級制覇を成し遂げました。

## 夢先生プロフィール



かみむら  
神村 エリカ

神奈川県出身。父親の影響から13歳で格闘技を始め、中学3年時の2007年にプロデビュー。2009年のJ-GIRLSミニフライ級で王座を獲得すると、同年のWPMF世界女子ミニフライ級タイトルマッチで勝利し、ムエタイ世界王座に就きました。2010年にはWMC世界女子ミニフライ級王座を獲得。2011年にはGirls-Scup2011で優勝、WBCムエタイ女子インターナショナル・ライトフライ級王者となりました。2013年に第2代RISE QUEENで優勝し、翌2014年に選手生活を引退。現在は会社員として働く傍ら、子どもたちへの指導も行っています。

## 夢先生プロフィール



てらざき なおき  
寺崎 直樹

千葉県出身。幼稚園時に野球を始め、中学2年時に断念。23歳のときに空手と出会いました。2004年に第15回全日本新空手道選手権大会の中量級で3位入賞。同年、全日本キックボクシング連盟(当時)のプロライセンスを取得し、プロデビューを果たしました。その後、膝の手術などさまざまな困難を乗り越え、2014年7月、K-1などで活躍している初代チャンピオンのHIROYA選手から1ラウンドKO勝利を挙げ、第2代 Krush-65kg級チャンピオンに輝きました。